

あきる野市地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査

～調査のご協力のお願い～

市民のみなさまには、日頃より市政に関してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

近年は、少子高齢化の進行、生活様式の多様化により、かつてあったような住民相互の支えあい等の「地域力」が低下してきているといわれており、また、ひきこもりや子育てに悩む若い母親の孤立、高齢者の孤独死、児童や高齢者に対する虐待等が新たな問題となっています。

このように複雑・多様化している社会問題や生活上の諸課題に対応するため、あきる野市では福祉サービスの充実と、地域住民等による相互の助け合い、支え合い活動の促進による、福祉の向上に取り組む指針として、「あきる野市地域保健福祉計画」を策定することになりました。

このアンケート調査は、市民のみなさまにご意見をいただき、計画策定にあたっての基礎資料として使わせていただくために実施します。

なお、調査対象の方は本市在住の20歳以上の方の中から、無作為に2,000人の方を抽出しております。ご記入いただいた内容については、あきる野市個人情報保護条例に基づき、適正な処理を行いますので、回答者個人が特定されることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年5月

あきる野市長 澤井 敏和

◆ ご記入にあたってのお願い ◆

- ご回答は、できるかぎりご本人にお願いします。
- ご本人が記入できない場合は、ご家族の方等が代筆をお願いします。
- この調査は無記名式です。調査票や返信用封筒にお名前を記入する必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**6月12日(水)までに郵便ポストに投かんしてください。**(切手は不要)
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

あきる野市役所 健康福祉部生活福祉課 庶務計画係

電 話：042-558-1927（直通） F A X：042-558-1170

▼あなたご自身についておうかがいします

問1 性別と平成31(2019)年4月1日現在の年齢をお答えください。比較

1. 男性	2. 女性	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
		4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上

問2 お住まいの地域は、次のうちどれですか。(1つに○)

1. 第1ブロック (草花、菅生、瀬戸岡、原小宮、原小宮一～二丁目)
2. 第2ブロック (雨間、野辺、小川、小川東一～三丁目、二宮、
二宮東一～三丁目、平沢、平沢東一丁目、平沢西一丁目、切欠、
秋川一～六丁目、秋留一～五丁目)
3. 第3ブロック (引田、湊上、上代継、下代継、牛沼、油平)
4. 第4ブロック (山田、上ノ台、網代、伊奈、横沢、三内)
5. 第5ブロック (五日市、小中野、留原、高尾、舘谷、舘谷台、入野)
6. 第6ブロック (小和田、深沢、戸倉、乙津、養沢)

問3 家族構成をお教えてください。(1つに○)

1. 一人暮らし
2. 夫婦のみ
3. 二世帯家族 (親と子)
4. 三世帯家族 (親と子と孫)
5. その他 ()

問4 職業をお教えてください。(1つに○)

1. 勤め人 (常勤)
2. パート・アルバイト
3. 自営業・家事手伝い
4. 専業主婦 (夫)
5. 学生
6. 無職
7. その他 ()

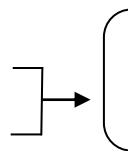
問5 あなたご自身は、あきる野市に住んで何年になりますか。(1つに○)

1. 3年未満
2. 3～6年未満
3. 6～10年未満
4. 10～20年未満
5. 20年～30年未満
6. 30年以上

問6 あきる野市は暮らしやすいと思いますか。(1つに○)

1. 暮らしやすい
2. どちらかといえば暮らしやすい
3. どちらかといえば暮らしにくい
4. 暮らしにくい

そのように思う理由をおきかせください



▼ご近所との関係について

問7 あなたは隣近所の方と、どのようにお付き合いされていますか。

(1つに○)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
2. さしさわりのないことなら、話せる相手がいる
3. 道で会えば、あいさつする程度の人ならいる
4. ほとんど近所付き合いをしない
5. ほとんど顔も知らない

問
7
-
1
へ

問7-1 その理由をお教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や家事・育児などで忙しい(時間がない)から
2. 引っ越してきて間もないから
3. ふだん付き合う機会がないから
4. 同世代の人が近くにいないから
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから
6. あまり関わり合いをもちたくないから
7. その他 ()

▼地域における交流、活動について

問8 あなたは、お住まいの地域の行事や活動にどの程度参加されていますか。
(1つに○)

- | | | |
|----------------|---|-------|
| 1. よく参加している | } | 問8-1へ |
| 2. ときどき参加している | | |
| 3. あまり参加していない | } | 問8-2へ |
| 4. まったく参加していない | | |

問8-1 どのような行事や活動に参加されていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 町内会・自治会などの活動
2. 子ども会やPTA活動
3. 高齢者クラブの活動
4. 地域でのボランティア活動
5. 趣味や娯楽を通じた活動
6. お祭りや運動会などのイベント活動
7. ふれあい福祉委員会の活動
8. 防災・安心地域委員会の活動
9. その他 ()

問8-2 参加されていない理由をお教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 町内会・自治会などに入っていないから
2. 忙しい(時間がない)から
3. 体調が悪いから
4. 一緒に参加する人がいないから
5. 家族の協力・理解が得られないから
6. どのような行事や活動があるか、いつ・どこでやっているか知らないから
7. 地域以外での活動に参加しているから
8. 自分が参加したいものがないから
9. 行事や活動に参加したくないから
10. 役員を任せられそうだから
11. その他 ()

問9 あなたは、地域の人々のお互いの支えあいを進めるために大切なことは、どのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 町内会・自治会など地域組織を活性化する・参加を促す
2. 地域で、地域の問題に関する話し合いの機会をもつ
3. 交流活動やイベントなど、ふれあう・知り合う機会をふやす
4. 近所の子どもや高齢者への見守り・声かけ活動をすすめる
5. 地域の防犯・防災、美化活動など、日常的な協力活動を活性化する
6. 誰もが気軽にふれあえる場・居場所をつくる
7. その他 ()
8. 特にない・わからない

問10 あなたやご家族が、日常生活で困ったときに、地域の人に手助けしてもらった(もらいたい)ことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 日常的な安否確認の声かけ
2. 災害時の安否確認の声かけ
3. ちょっとした買い物やゴミ出し
4. 食事や掃除・洗濯の手伝い
5. 通院の送迎や外出の手助け
6. 子どもの世話、保育園等への送迎
7. 話し相手や相談相手
8. 高齢者や障がいがある人などへの介助
9. その他 ()
10. 特にない・わからない

問11 あなたやご家族が、日常生活で困ったときに、地域の人に手助けできることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 日常的な安否確認の声かけ
2. 災害時の安否確認の声かけ
3. ちょっとした買い物やゴミ出し
4. 食事や掃除・洗濯の手伝い
5. 通院の送迎や外出の手助け
6. 子どもの世話、保育園等への送迎
7. 話し相手や相談相手
8. 高齢者や障がいがある人などへの介助
9. その他 ()
10. 特にない・わからない

▼ボランティア活動について

問12 あなたは、過去5年間に、ボランティア活動に参加されたことがありますか。(1つに○)

※個人の活動、グループでの活動、学校や会社を通しての活動など、参加の方法は問いません

- | | | | |
|--------------|---|--------|---|
| 1. 参加したことがある | → | 問12-1へ | ↓ |
| 2. 参加したことはない | → | 問12-2へ | |

問12-1 参加したことがあるのはどんな活動ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 施設での手伝い |
| 2. 子育て・福祉イベントなどの手伝い |
| 3. 募金活動の手伝い |
| 4. 地域の見守り活動・話し相手 |
| 5. 地域の防犯・防災活動（夜回りなど） |
| 6. 子どもの一時預かり |
| 7. 通院・外出の手伝い |
| 8. お弁当の配食 |
| 9. 家事の手伝い（食事、掃除、洗濯など） |
| 10. 手話など専門技能を生かした手伝い |
| 11. その他（) |

問12-2 参加されていない理由をお教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 活動の団体・グループに入っていないから |
| 2. 忙しい（時間がない）から |
| 3. 体調が悪いから |
| 4. 一緒に参加する人がいないから |
| 5. 家族の協力・理解が得られないから |
| 6. どのような行事や活動があるか、いつ・どこでやっているか知らないから |
| 7. 地域以外での活動に参加しているから |
| 8. 自分が参加したいものがないから |
| 9. 行事や活動に参加したくないから |
| 10. その他（) |

問13 あなたは、今後、ボランティア活動をしたいと思いますか。(1つに○)

1. ぜひ取り組みたい
2. 可能な範囲で取り組みたい
3. わからない
4. 取り組みたくない(できない)

問13-1へ

問13-1 参加してみたい活動はどんな活動ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. 施設での手伝い | 9. 家事の手伝い(食事、掃除、洗濯など) |
| 2. 子育て・福祉イベントなどの手伝い | 10. 手話など専門技能を生かした手伝い |
| 3. 募金活動の手伝い | 11. その他、参加してみたい活動があれば
ご記入ください |
| 4. 地域の見守り活動・話し相手 | [] |
| 5. 地域の防犯・防災活動(夜回りなど) | |
| 6. 子どもの一時預かり | |
| 7. 通院・外出の手伝い | |
| 8. お弁当の配食 | |

問14 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 情報提供を充実させる
2. 活動をしたい人のための相談窓口を提供する
3. 活動の拠点となる場所を提供する
4. ボランティアを必要とする人、したい人とを結ぶ仕組みをつくる
5. ボランティア研修を開催するなど普及啓発(積極的な呼びかけ)を行う
6. 経済的負担がかからないように、交通費などの実費を援助する
7. 企業のボランティア休暇制度を社会に広める
8. 学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う
9. 地域での子どもや家族ぐるみのボランティア活動を充実させる
10. その他 ()
11. わからない

▼災害時の対応等について

※ここでいう「災害」は、地震、風水害、雪害などを意味します

問15 あなたは、災害が発生した時にひとりで避難できますか。(1つに○)

1. できる
2. できないが、支援してくれる人（家族や知人等）がいる
3. できないし、支援してくれる人（家族や知人等）はいない
4. わからない

問16 災害時の対策として、充実してほしいことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 避難行動要支援者がどこにいるのかの把握（台帳づくりなど）
2. 避難行動要支援者の避難を支援する人の決定
3. 避難行動要支援者などに避難情報を伝える方法の確認
4. 避難行動要支援者の安否確認・救助・避難誘導體制（手順）の確立
5. 災害時に関係機関に迅速に通報するシステムの整備
6. 災害時の医療体制の整備
7. 高齢者、障がい者、乳幼児対応の避難施設の確保
8. 高齢者、障がい者、乳幼児等に必要な物資の備蓄
9. 避難施設で継続が必要とされる福祉サービスの量の把握
10. 地域での日常的な協力体制づくり
11. ボランティアの受け入れ態勢の確立
12. 災害後の生活支援体制の確立
13. その他（）
14. 特にない・わからない

※避難行動要支援者とは、自ら避難することが困難な人を意味します

▼地域の課題について

問17 あなたが感じる、

- ★ あきる野市における地域の福祉課題
- ★ 身近にある福祉課題
- ★ 必要だ（十分ではない）と思う福祉活動 等

には、どのようなものがありますか。

身近なこと、市全体にかかわること、どのようなことでも結構です。
ご自由にご記入ください。

例：空き家が多くなっている、ひとり暮らしのひきこもりの高齢者が身近にいる 等々

▼保健福祉施策について

問18 以下の制度や団体・機関について、聞いたことがある、あるいは知っている人・場所に○をしてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 民生委員・児童委員
2. ふれあい福祉委員
3. 健康づくり市民推進委員
4. あきる野市社会福祉協議会
5. 地域包括支援センター（はつらつセンター）
6. 子ども家庭支援センター
7. 障がい者相談支援センター
8. 上記については聞いたことがない・知っているものはない

問19 地域（地域の助け合い、町内会の活動、ボランティア活動など）、保健（健康づくり、健康診断、予防接種、医療機関など）、福祉（子ども、障がい者、高齢者など）、これらの情報について、どのような方法で情報提供してほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市の広報誌やパンフレット
2. 市のホームページ
3. インターネット（市のホームページ以外）
4. メール、SNSによる配信
5. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など
6. 地域の回覧板
7. 地域の掲示板（自治会、スーパー、コンビニ、銀行、駅など）
8. 地域で活動する委員（民生委員、ふれあい福祉委員、健康づくり市民推進委員など）
9. 病院などの医療機関
10. 秋川ふれあいセンター（社会福祉協議会）
11. 民間の福祉関係の団体や施設
12. 公共施設（市役所、公民館、図書館、体育館など）
13. 学校、保育園・幼稚園など
14. その他（)
15. わからない

問20 高齢者や障がいのある人、妊婦、子ども連れなどを含めたすべての人々が外出しやすいまちづくりのためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで○)

1. 道路の段差を解消する
2. 公共施設や病院などにスロープ、エレベーターやエスカレーターを設置する
3. 歩道や道路上の障害物（商品や看板、違法駐車、放置自転車など）を取り除く
4. 車いすのまま乗降できる超低床バスやリフト付バスを運行する
5. まちの中に、障がいのある人も含めて、誰でも利用できるトイレを増やす
6. 点字ブロックや視覚障害者用信号（音の出るものなど）の整備をすすめる
7. 障がい者用の駐車場を確保する
8. 外出を手助けするボランティア組織を支援する
9. 誰もが気軽に手助けができるよう、市民の助け合いの意識を高める
10. その他（)
11. わからない

問21 以下の①～⑮について、あきる野市はすすんで（充実して）いると思いますか。

（それぞれあてはまるもの1つに○）

	あきる野市はすすんで(充実して)いる			
	とても そう思う 4	そう思う 3	あまり 思わない 2	思わない 1
①. 健康づくり、介護予防	4	3	2	1
②. 社会参加・生きがいづくり	4	3	2	1
③. 地域における医療体制、医療と介護の連携	4	3	2	1
④. 防災・防犯の取り組み	4	3	2	1
⑤. 道路や建物のバリアフリー化など 誰もが暮らしやすいまちづくり	4	3	2	1
⑥. 住民同士で支えあう仕組みづくり	4	3	2	1
⑦. 地域における見守りの取り組み	4	3	2	1
⑧. 判断能力に不安がある者等への権利 擁護、虐待防止の取り組み	4	3	2	1
⑨. 生活困窮者への支援	4	3	2	1
⑩. 子ども・子育て世帯への支援、サービス	4	3	2	1
⑪. 障がい者（児）への支援、サービス	4	3	2	1
⑫. 高齢者への支援、サービス	4	3	2	1
⑬. 差別・偏見のないまちづくり	4	3	2	1
⑭. 福祉人材の育成	4	3	2	1
⑮. ボランティアの支援	4	3	2	1

問22 あなたが考える、あきる野市において、今後充実すべき保健福祉施策はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくり、介護予防
2. 社会参加・生きがいづくり
3. 地域における医療体制、医療と介護の連携
4. 防災・防犯の取り組み
5. 道路や建物のバリアフリー化など誰もが暮らしやすいまちづくり
6. 住民同士で支えあう仕組みづくり
7. 地域における見守りの取り組み
8. 判断能力に不安がある人等への権利擁護、虐待防止の取り組み
9. 生活困窮者への支援
10. 子ども・子育て世帯への支援、サービス
11. 障がい者（児）への支援、サービス
12. 高齢者への支援、サービス
13. 差別・偏見のないまちづくり
14. 福祉人材の育成
15. ボランティアの支援
16. 就労に困難を抱える人への支援
17. 居住に課題を抱える（住宅確保要配慮者等）人・世帯への支援
18. 社会的孤立、ひきこもり者等への支援
19. 自殺防止に関する対策
20. 罪を犯した人の立ち直りを支える取り組み
21. その他（)
22. わからない

問23 あきる野市の地域福祉の推進、市民活動、ボランティア活動、これらへの支援策などについて、ご意見がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

返信用の封筒に入れ、6月12日（水）までにポストに投かんしてください。